

ブラジル金融政策（2019年6月）

市場予想通り政策金利を据え置き

2019年6月20日

年金改革法案の動向が引き続き注目材料

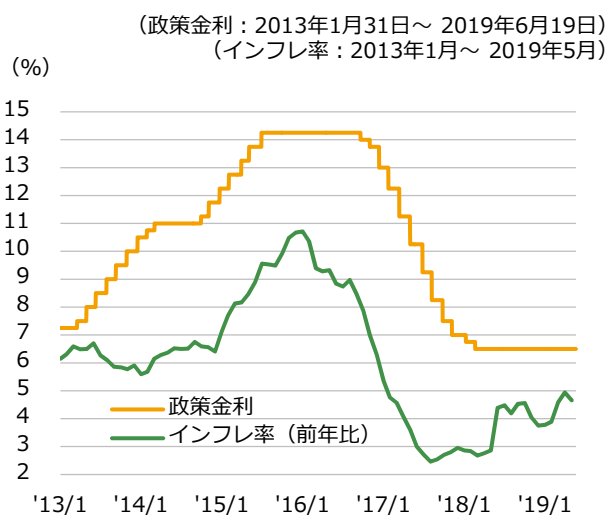
ブラジル中央銀行は6月19日（現地）、政策金利を市場予想通り6.5%に据え置きました。

足元のインフレ率は目標範囲（2019年は4.25%±1.5%）内で推移しており、インフレ期待も高まっていません。また、足元の経済指標も悪化しており経済状況が芳しくない中、中央銀行は景気回復を支援するため、政策金利を低位で据え置くことを決定したとみられます。声明文では、今後の金融政策について、経済活動やインフレなどの状況次第としています。

今後のブラジルの経済については、現在議会において審議中である年金改革法案をめぐる動向が注目されます。年金改革に必要な憲法改正のハードルの高さなどから、改革の実施には多くの課題を残していますが、議会の主導権を握る中道派政党は改革の必要性におおむね賛成しています。直近の世論調査においても、改革の必要性について国民の理解も進んでいることが確認できます。改革によって財政収支が改善すれば、海外からの資金流入や為替の安定が見込まれ、ブラジルの経済の追い風となることが期待されます。

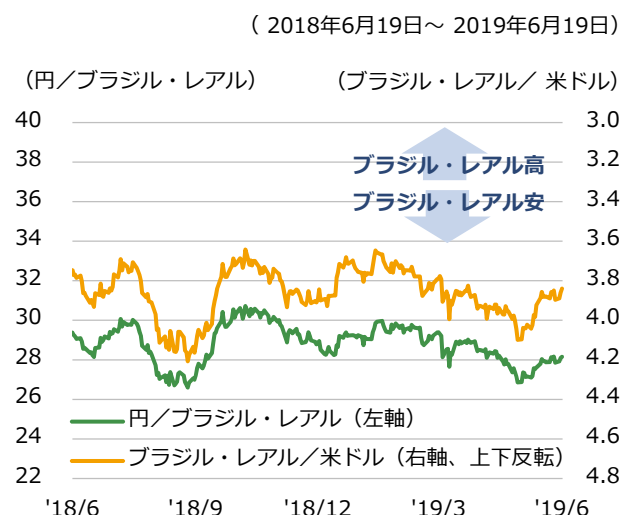
当面のブラジル・リアルは、同法案をめぐる政治動向や外部環境に左右される展開が見込まれます。外部環境としては、米国の金融政策が緩和方向に傾いたことにより、相対的に金利の高い新興国市場への資金流入が今後期待されます。

政策金利とインフレ率の推移



（出所）ブルームバーグ

為替の推移



（出所）ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。